

船舶事故調査報告書

平成22年5月27日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）

委員 山本 哲也

委員 根本 美奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成21年10月14日15時45分ごろ本船が発見された。）
発生場所	不明（本船発見場所は、熊本県上天草市湯島灯台から真方位325°150m付近（概位 北緯32°36.4′ 東経130°19.8′）であった。）
事故調査の経過	平成21年10月16日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 ^{たいよう} 大洋丸、2.57トン KM3-23125（漁船登録番号）、個人所有 8.10m(Lr)×1.96m×0.74m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数45、昭和52年1月15日
乗組員等に関する情報	船長 男性 75歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士 免許登録日 昭和50年5月20日 免許証交付日 平成20年11月19日 (平成26年9月27日まで有効)
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	本船は、船長1人が乗り組み、たい一本釣り漁の目的で、平成21年10月14日昼ごろ、上天草市湯島漁港を出航したが、15時45分ごろ、湯島漁港北西方沖において、地元漁船により無人で漂流しているところを発見された。 船長は、18日07時30分ごろ、湯島灯台の北方200m付近で、うつ伏せに浮いている状態で発見され、溺死と検案された。
気象・海象	気象：風向 西～北西、風力 5～6、視界 良好 海象：北西からの波、波高 約2m、水温 約25℃
その他の事項	事故当時、風浪が強くなったため、本船以外の地元漁船は操業を中止して湯島漁港に帰航していた。 本船が発見された時、機関はアイドル状態で、クラッチは中立となっており、船尾のスパンカーは畳んでロープで縛ってあった。 船長は、発見時、救命胴衣を着用していなかった。

分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 不明 不明 死因は溺死であった。 本船は、湯島漁港出航後、船長が、救命胴衣を着用せずに落水した可能性があると考えられるが、落水した状況について明らかにすることはできなかった。
原因	本事故は、本船が湯島漁港出航後、船長が救命胴衣を着用せずに落水したため、発生した可能性があると考えられる。	